天竜区水窪町　集落写真集（改定版）

＜作者まえがき＞

　水窪町は、大きく**奥領家（おくりょうけ）**、**地頭方（じとうがた）**、**山住（やまずみ）**の３つの地区に分かれています。これらの地区の中にさらに複数の集落が含まれており、
集落ごとに環境や文化、暮らしぶりが異なります。

　これらの集落の中には住民が数えるほどしかいないところもあれば、すでに人が住まなくなってしまったところもあります。
　これらの集落や地域の景色を写真に残し、水窪町の今の記録を次世代につなげることを目的として、今回、この写真集を作成しました。

　いつか水窪町出身の方がこの写真集を目にした時に、かつての地元の暮らしを懐かしんでいただけたら嬉しいです。

2021年3月　山里いきいき応援隊　栗島　洸

水窪町の街を望む（高根城より）

高根城から北側を見たときの風景です。

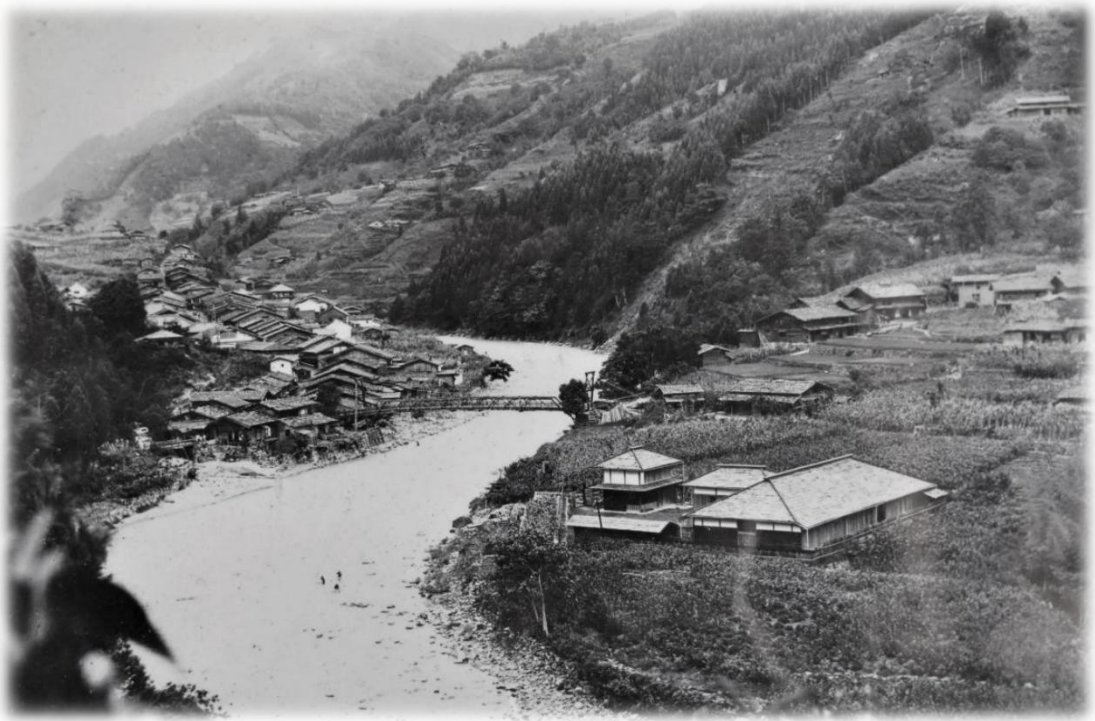
水窪町の人口は谷あいで比較的平地が多いこの場所（**本町・神原・大里・小畑・大原・向市場**地区周辺）に集中しています。行政機能や小中学校、商店等もここに集中しており、山中の町とはいえ生活がしやすい地域です。昔ながらの建物や細道が多く、歩いて散策をしても楽しいエリアです。

水源町森林組合

水窪町玄関口

国道を天竜側から進んできたときに最初に水窪の街が現れる場所です。右側の半島のようになっているのが**向市場（むかいちば）**地区、左奥に見えるのが**本町（ほんまち）**地区です。

大正時代におそらく同じくらいの場所から撮影された写真です。今より森林はまばらですが、地形は変わっていませんね。 →



元の写真は水窪交流館に展示されています

30

奥領家 - 本町（ほんまち）

水窪のかつての中心街です。現在の国道ができる前はここがメインの通りでした。かつては、銀行や旅館があり、芸者置屋があるほど盛んだったといいます。

昭和初期におそらく同じくらいの場所から撮影された写真です。商店と旅館があるのがわかります。 →

元の写真は水窪交流館に展示されています

奥領家 - 神原（かんばら）

水窪駅から神原地区を見た風景です。
神原は高台に位置する地区で本町や大里地区を見渡すことができます。
水窪小学校があります。

水窪小学校

MAX FACTOR
THE BEAUTY EXPER
やまご化粧品店
中村屋
中村屋
フジカラー

奥領家 - 大里（だいり）

水窪の中心街の一つです。国道ができる前のメイン通りで本町から旧商店街が続いています。

奥領家 - 小畑（おばた）

　大里のおとなりの地区です。斜面を有効活用した２～３階建ての建物が多く見られます。

　市営グラウンドがあり、グランドゴルフやゲートボールでにぎわいます。テニスコートもあります。

市営グラウンド

奥領家 - 大原（おおはら）

小畑のおとなりの地区です。生コンクリート工場のオレンジ色の施設が目印です。

奥領家 - 長尾（なごう）

中心街から少し離れた落ち着いた集落です。
「ながお」と書いて「なごう」と読みます。
キャンプ場や県西部で唯一の射撃場があります。

よつばの杜キャンプ場

長尾地区にあるキャンプ場です。ハイシーズンの休日には多くのキャンパーでにぎわいます。

奥領家 - 西浦 - 所能（にしうれ - しょのう）

「にしうら」と書いて「にしうれ」と読みます。所能地区は水窪の伝統芸能である「**西浦田楽（にしうれでんがく）**」が行われる地区です。旧西浦小学校の校舎が残っています。

観音堂

旧西浦小学校

奥領家 - 西浦 - 桂山（にしうれ - かつらやま）

桂山地区には「**カタクリの里**」があり、春にはカタクリの花が見られます。また、縄文時代以降の土器が多数発掘された**桂山遺跡**があり、長きにわたって人が生活してきたことがわかっています。

西浦 - 梅島（梅島）
桂山のおとなりの集落です

奥領家 - 西浦 - 池島（にしうれ - いけじま）

青崩峠方面と兵越峠方面の分岐にあたる位置にある集落です。
池島をはじめ西浦地区では、三遠南信道建設に係る工事が盛んに行われています。

奥領家 - 草木 - 草木（くさき - くさき）

長野との県境にほど近い、遠州でも最北に位置する集落です。完全な山岳集落であり、かつては焼畑農業や山林労働で生計を立てていたようです。

奥領家 - 草木 - 渡元（くさき - どもと）

白倉川沿いの集落です。下の写真の分岐を左に進むと**有本（ありもと）**、**大嵐（おおぞれ）**や**時原（ときはら）**といったさらに奥地の集落にたどりつきます。

※　大嵐、時原にはすでに人は住んでいません。

奥領家 - 草木 - 大嵐（くさき - おおぞれ）

　白倉川沿いの奥地の集落ですが人はすでに住んでいません。愛知県境にも同じ大嵐（おおぞれ）という地名があり、まぎらわしいです。
　分校がありましたが、建物などはなく、広場だけが面影となって残っています。なお、水窪町には、かつて10以上の小中学校（分校含む）の校舎があったそうです。

大嵐分校跡地

大嵐分校看板

足神神社（あしがみじんじゃ）

足の健康にご利益がある神社です。アスリートや運動部の学生の絵馬がたくさんかけられています。近くには磐田市のゆるキャラ「しっぺい」のモチーフとなった忠犬「しっぺい太郎」の墓や「さば地蔵」「木地屋の墓」がありますのであわせて訪れてみてはいかがでしょうか。

さば地蔵

木地屋の墓

青崩峠古道
遠州
信州
熊伏山
登山口

青崩峠（あおくずれとうげ）

　遠州・信州の境となる峠です。かつては交通の要所となっていました。付近一帯が中央構造線の破砕帯にあたるため、土質がもろく、信州側から見たときに斜面が青く崩れて見えたのが名前の由来だそうです。

信州側から見た斜面

信州方面の眺望 ↑↓

青崩峠に続く旧道

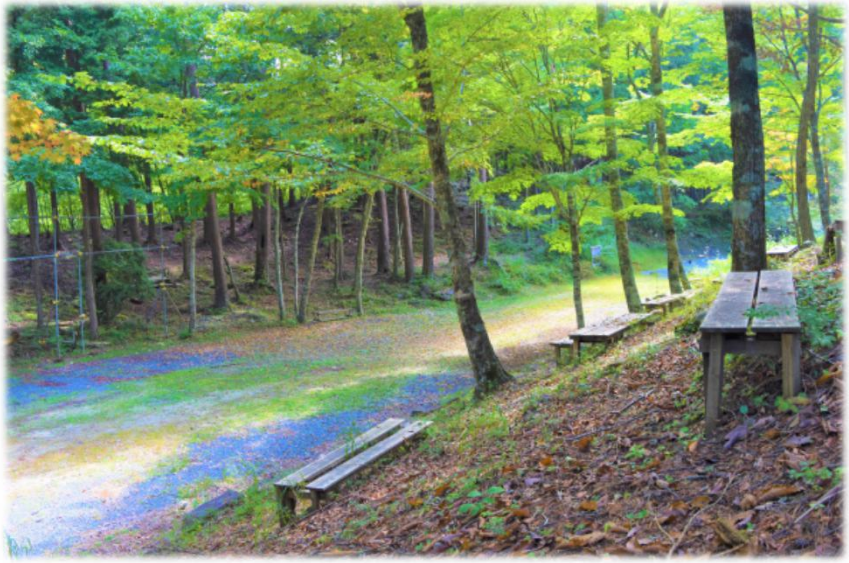
　秋葉街道・信州街道・塩の道などと呼ばれたかつての主要街道です。
　かつては、秋葉神社の参拝客や出稼ぎ労働者など盛んに人の往来がありました。さらに昔の戦国時代には、武田軍の軍勢がここを越えていったそうです。

国境
告!!
この標識は国盗り
綱引合戦に於いて
定めた国境である
行政の境に非ず
天竜村土会水窪支部
飯田市土会鼎所
遠山郷支部
青年部
第三十回記念
峠の国盗り綱引き合

兵越峠・峠の国盗り綱引き国境

　毎年10月に遠州軍と信州軍で国境をかけた「**峠の国盗り綱引き合戦**」が行われます。両軍、この日のために一年間特訓を重ねており、国境をかけた白熱した戦いが繰り広げられます。

　青崩峠に通じる遊歩道もありますので、綱引き以外の時期にも是非散策してみてください。



綱引き会場

遊歩道入口

奥領家 - 竜戸 - 河内（りゅうと - かうち）

谷の斜面に位置する集落です。ふれあい橋を挟んで**柱戸（はしらど）**地区の向かい側です。柱戸地区とは谷を挟んで会話ができそうですね。

川下側からふれあい橋方面を望む

左側が河内地区、右奥は柱戸地区です。

竜戸-柳瀬（やなせ）

河内のおとなり（上流側）の集落です。

奥領家 - 大野 - 大野（おおの - おおの）

くねくね道を登った先の標高およそ650mにある集落です。「**大野の一本桜**」は水窪では有名な桜の巨木で、春には満開の桜の下で花見が行われます。お茶の生産が盛んです。

大野の一本桜

奥領家 - 大野 - 大沢（おおの - おおさわ）

景色が非常に良い集落です。大沢地区出身のご主人が始めた農家民宿「**ほつむら**」では、素晴らしい景色と街の喧騒から離れた静かな時間を楽しむことができます。

大沢地区

農家民宿ほつむら

水窪ダム

昭和44年に完成したロックフィルダム。
ロックフィルダムは石や岩石を主材料としてつくられるダムで、比較的地質の悪いところでも構築可能という特徴があるそうです。

ダム湖側を望む

湖底に沈んだ村
（水窪ダム設置看板より）

奥領家 - 塩沢（しおざわ）

　長野県（天龍村）との境界にほど近い集落です。林道天竜川線をしばらく北上してたどり着く集落で、水窪町の中でもかなり奥まったところに位置しています。

　ちなみに、秘境駅で知られる「**飯田線小和田駅**」はこの集落から40～50分山道を歩くしかアクセス方法がありません。

大嵐峡（おおぞれきょう）

　愛知県（豊根村）との県境付近にある渓谷。山道から見下ろす天竜川は見事なエメラルドグリーンです。飯田線大嵐駅を下車するとすぐに見ることができるので、山奥でありながらも足を運びやすいスポットです。

　ちなみに、ここからだいぶ離れた草木地区に大嵐（おおぞれ）という集落がありますが、関連は不明です。

奥領家 - 夏焼（なつやき）

　飯田線大嵐駅から歩いて20～30分ほどの場所にある集落ですが、すでに住んでいる人はいません。大嵐峡を見下ろすことができるすばらしいロケーションです。

　飯田線の路線が変更される前は、集落のすぐ近くを電車が通っており、信州・三河との交流も盛んに行われていたようです。

夏焼トンネル

　かつて飯田線が通っていたトンネルです。夏焼地区に行くには、飯田線大嵐駅からこのトンネルを徒歩で通る必要があります。

　ところどころ岩肌がむき出しになった真っ暗なトンネルは非常に味があります。かつて飯田線の建設に尽力したというアイヌ測量隊の苦労がしのばれます。

地頭方 - 向市場（むかいちば）

　水窪中学校や総合体育館がある地域です。飯田線の向市場駅もあります。

　総合体育館では、バドミントンやインディアカなどのサークル活動が行われるほか、100円でお得にジムが利用できます。

向市場駅

水窪総合体育館

地頭方 - 上村（うえむら）

向市場地区から登っていくと、ほどなくしてたどり着く集落です。
近年、地元の有志の方々により花桃の植樹が予定されています。

地頭方 - 向島 - 押沢（むこうしま - おしざわ）

小畑地区から民俗資料館を抜けてすぐのところにある集落です。
赤いつり橋が目印です。

地頭方 - 向島 - 柱戸（むこうしま - はしらど）

河内（かうち）・柳瀬（やなせ）地区の谷を挟んで向かい側です。ふれあい橋を渡ればすぐ河内・柳瀬地区なのですが、ふれあい橋ができる前は下流から迂回するしかアクセスできなかったようです。

ふれあい橋

高根城（たかねじょう）遠景

高根城は**今川氏**に属する**奥山氏**によって築かれた城で、**武田信玄**の軍勢によって落城させられたとされています。2001年に主殿・城門・井楼櫓・柵条が復元されました。

高根城は、2017年に放送された大河ドラマ「**おんな城主 直虎**」の撮影にも使われました。大河ドラマの前半で、幼少期の井伊直虎（おとわ）が、父・直盛と語り合うシーンなどで使われているようです。

高根城

向市場地区から車で３分程度のところに駐車場があり、そこから徒歩20分程度山道を登ります。頂上からは、水窪の街が一望できます。

山住 - 河内浦（こうちうれ）

山住地区の入口に位置する集落です。山住神社に通じる古道の登り口があります。地元NPO「**山に生きる会**」が古道の整備をしているので、安心して登ることができます。

山住古道入口

30

山住 - 門桁（かどけた）

　おとなりの**春野町**に最も近い集落です。水窪町内のほとんどの集落が水窪川水系に集中しているのに対して門桁は気田川の源流部にあるため、立地的にもまさに「**門気田（かどけた）**」（気田の入り口）に当たるといえます。

　ここから春野町への道中に通る「**明神峡（みょうじんきょう）**」は紅葉の名所です。

門桁地区

門桁小学校跡地

山住神社（やまずみじんじゃ）

標高1,107mの山住峠に位置する山犬（狼）をまつる神社。狼は農作物の守り神として信仰されてきたようです。四足の動物を食べた日の参拝はご法度との言い伝えがあります。

山住神社（春の大祭）

山住神社では春と秋にそれぞれ大祭が行われます。

※ 令和２年度は縮小して関係者のみで祭事のみを行いました。

令和2年度年春の大祭

＜本写真集をご覧いただく際の留意事項＞

★ 見開いた際の上のページに写真、下のページに写真の解説や補足の写真を掲載しています。

★ 本写真集には、水窪町内のほとんどの集落が含まれていますが、一部掲載できていない集落もあります。それらの集落もいずれ撮影して写真集に加えたいと考えています。

★ 一部、掲載許可をいただいた上で、町内施設で展示されている写真（過去の写真）を転載しています。

★ 水窪町の集落名が書かれた地図も掲載していますので、是非参考にしながらページをめくっていただけたらと思います。